

小学校区：日高小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
50~59 歳	2. 中学生以下の子どもはいない	(未入力)	<p>学校関係職員です。今年度より職員採用が変更となったばかりに、再編計画とは心穏やかではありません。必ず再編に伴い職員数削減も必須、採用されたばかりなのに今後の仕事も模索しなければと不安が募ります。仕事のモチベーションも低下につながります。まして学校によって仕事内容や分担業務の格差…等あり常々疑問であります。教職員についても担任、副担任の充実になり子ども達への学力向上にはつながるのでしょうか、職員室の手狭さや設備の投資等問題があると考えます。</p> <p>日高中は今後どのようなのでしょうか？</p>		
30~39 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	<p>少子化が進む現状を考えると、学校の統合は避けられない問題だと思う。クラス替えは人間関係構築の過程で必要な事だと思うので、クラス替えができる人数の確保は必要な事だと思う。ただ、中学校も2クラス分の人数確保でいいのではないかと思う。また、通学路の安全対策はキチンと対応して欲しい。</p>	<p>市内で一貫した教育レベルを維持するのに有効な施策だと思う。</p>	
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生	<p>少子化に伴う小規模運営は止む無し。</p> <p>自分自身はベビーブーム世代で大人数でクラス数も多く、大雑把な感じ。今は一人っ子や自宅周辺にも同学年がいない事などもあり、大人数の感覚というより小規模学級による細かい指導が今の世代には向いていていいのでは？</p>	<p>特に無いが、小中一貫の主たる目的はより明確であったほうが良い。</p>	
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生	<p>人数が増えるのは、いいことだと思います。デメリットもたくさんあると思いますが、先生方、保護者が協力してやっていくしかない。</p>	<p>学力に見合ったところで、さらに伸ばせるような仕組みができればいいと思います。</p>	
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	<p>7つのエリアの2(日高、田尻、滑川)区は再編後、小学校と同様日高中にして欲しいです。まだ校舎が新しい為。</p> <p>中学校の部活活動もエリアで自由に選べる様にすると、色々な部活があって入りやすくなるかも知れません。</p>		
30~39 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生	<p>在学中に学校の再編が行われる場合、学校に必要な物品(制服、ジャージ、鞆、部活動用品など)の継続使用は必須だと思います。</p> <p>ですが、その場合、特に部活のユニフォームなどが揃っていないと、試合などで困る恐れがありますが、その辺りはどの様にお考えでしょうか。</p> <p>また、通学距離が長くなる生徒もいるため、始業時刻を遅らせる・終業時刻を早める、などの対応も必要となってくるのではないのでしょうか。</p> <p>また、中学3年生での再編となる生徒は受験も控えていますので、人間関係・学校生活にゆっくり慣れていく時間はないため、混乱がない様にしていかなければならないと思います。</p>		

小学校区：日高小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
30~39 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生／小学生		日高はほとんどの人が同じ中学にあがるのでこのままで良い。 日高中は新しいのもったいない。	
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生	少子化に伴い学校統合を行う背景は理解できる。 今後の協議を通してより良い学校運営が実現されることを期待している。 学生の通学に関する具体策を知りたい。 ☆通学専用路線バスの運行頻度や停留場所 ☆学校敷地内の駐車場の確保や近隣住民に配慮した通学動線の確保。学校区が広範囲にわたる場合、在籍生徒の数に関係なく車を利用した通学者、来校者（運動会などの大型行事）が増加することが予想される。従来の「車による通学・来校は控えてください」という協力はあまり期待しない方がいいと思う。 個人的意見として以下を提案。 ☆学校から1キロ以上の通学者はスクールバスをメインとした通学スタイルを採用（防犯・災害気象状況時の安全上の観点から） ☆保護者による交通安全立哨当番制の廃止（共働き世代保護者の負担減） ☆有償ボランティアによる登下校時の立哨業務・交通指導（徒歩通学圏内）→地域住民の人材活用	小中一貫教育カリキュラムの具体的内容や対策案について知りたい。 ☆茨城県立中高一貫校との整合性（大学進学を希望する生徒・保護者層にとって近年の茨城県の公立中高一貫校の設立は、生徒の学力格差がより広がり、成績優秀生徒の流出（私立・水戸・勝田エリアへの進学）が懸念される。上記に対する具体的対応策を提示してもらいたい。 ☆ICT教育事業の具体案。 新型コロナウイルス感染拡大防止による学校休講要請措置を通じて小学高学年から中学生個人に対しパソコン機器を利用した家庭学習の必要性を感じた。各家庭の所得格差に配慮した利用方法に期待したい。（大変だと思うが・・・） ☆県内市町村と差別化した小中一貫教育カリキュラムの提示 「自然豊か（海山を利用した教育）」「郷土愛に根差した教育（アイデンティティを育てる）」「柔軟な発想力（想像力の育成）」「体験型授業」の充実は時間的余裕のある小学校期に経験できるとうれしい。子育て世代の人口増加につながる策に期待したい。	日立ならではの地形・地域住民の人柄の良さを生かして新たな人材を受け入れる環境を整備し、少子化対策だけではなく「人口増加策」も考慮した小中一貫プログラムを構築してもらいたい。具体的には以下を提案したい。 ☆STEAM教育の充実（理数系と芸術教育の融合） ☆他県大学教育機関の人材の受け入れ・出張授業の実施特に有名芸術系大学（東京藝術大学・武蔵野美術・多摩美術大学学生の長期休暇を利用した学生インターン受け入れ・制作プロジェクトの提供・展覧会や演奏会の提供（自然地形を利用した披露会の提供）→市民にとって体験型プロジェクトを知る機会につながる・子供の情操教育を高める。 ☆リモートワークが可能なIT企業の誘致。 「ITの専門職」人口が増加することで市内のIT化の興味関心が高まる。新たな意見や発想も生まれる。企業に対し学校教育活動への協力も期待できる。 ☆学校統合によって使わなくなる施設の利用法 市民全体の今後の教育活動に生かせるような利用を期待する。 具体例；各種資格取得ができるCBTテストセンターの設置。 敷地面積が不十分な地域や学校の大型行事開催の場所提供（運動会お祭りなど）
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生／未就学児	小学校と中学校の通学路が大きく変わることで、統合後の環境の変化の不安があるので、子供たちの不安にもつながらないようにするための策が必要だと思います。	中学校へ上がる区別をつけるための施設分離、学校独立させることはよいと思います。	
50~59 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生／未就学児	◎安心、安全な環境を整えることが大切だと思います ・個別にも対応できるようT・T ・専門的な教育 ・道徳心を養う教育		この度のコロナ対応で日立市の教育は子どもたちのために保護者のために素早く対応して下さったと思います。 これからも適正な対応をお願いいたします。
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	この子が学校に行く頃は、学校再編の中にいると思います。いいと思います。	色々な選択が出来ていいんじゃないでしょうか。	小学校のランドセルも黒や赤だけなんて、男女差別な感じがして時代にあってないと思います。せめて茶色もあってもいいんじゃないでしょうか？ランドセルもらえるのはありがたいですが、制服も一緒ですよ。男女差別と同じです。自由に選べる選択を。
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生	いいと思います。少子化のために	今の子供には、かかわらないので、よくわかりません。	男女差別のため、中学の制服も変えていくべきだと思います。

小学校区：日高小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	アリだと思う。学校の新しいかたちとして、いいと思う。学習もいろいろな子に合わせた、わかりやすい学習をお願いしたい。	日立市の中であってもいいと思う。	今の時代に合った、制服になってないですね。男女の差別があるのに、今どき、セーラー服、学ランなんて・・・ 性的マイノリティの子供たちの通いやすい学校を！
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生	・賛成。少人数だと運動会等は寂しく感じる。 ・エリアが拡大される事によって、遠い児童はバス等で送迎してくれるのか。中学校は部活動もあるので心配。		
30~39 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	日高小と滑川中を統合しないでほしい(2031~2040) 今年中に日高学区へ引越す予定なのですが、共働きで帰宅時間が遅いため、日高小-日高小から近い土地を選びました。子供の安全のためです。物騒な世の中なので路線バスでも心配になってしまいます。	9年間の真ん中あたりはガラガラと過ぎてしまうのではないのでしょうか。 もしも苦手の先生と小・中学校までずっと一緒なのは子供にとってもとても苦痛になると思います。	第3,4期の日高小と滑川中の統合、場所は田尻小というのは決定なのでしょう
80~89 歳	(未入力)	(未入力)	たくさんの資料の市報への掲載ありがとうございました。人口減少の今日、大きくなった学区を見直そうという「学校再編の考え方」は大変よい視点であると思います。 バブル時代も含め、人口がどんどん増加し、学校規模が大きくなり学校の数も増えました。それが減少に進んでいる今、見直そうということは大切なことだと思います。考え方は的を得ています。 昔の学校は地域主体で、場所が限定され、地域の中に学校が1つあり、そこでは大人に近い者から幼児まで学ぶ、幼・小・中・高一貫のような教育が行われていました。 小学校6年の後には、高等科があり、今の小中一貫のような教育が行われていました。小学校の後には高等科があり、高校は県内にいくかで、5年生から受験で進学できました。 ほとんどの家の職業は農林漁業で、小学校6年から高等科まで地域が一体となり成り立っていました。		
50~59 歳	2. 中学生以下の子どもがいる	小学生	日立市は高低差もあり、自転車通学もありませんね。通学危険な所もたくさんあります。(高齢者や子供の運賃が安くなっても、バスが中に来なかったり、バス停が良くなかったり、サービスが悪くてはバスにも乗りたくありません。バス停の整備が先では?) 少人数は少人数の良さがあります。適正人数は必要ですが、教師の目の届くようにして下さい。(自分が子供の時を思うと、大人の目の届かない所での楽しみや成長もありましたが)「忙しくてできません」というような事がないようにして下さい。 学校は大事な一人一人の命を預かる場所です。通学範囲が広がったり、PTA、働く保護者(多忙なので送迎)等のため、駐車場確保も必須です。	小中一貫教育はとても良いと思います。10年以上前に幼小中連携の研修に行ったことがありますが、日立市はまだにないですね。小1プロブレム、中1ギャップ対策に良いと思います。 難しい年頃の中学生が、小学生と関わる事は様々な面で有意義であるのではないかと感じます。小学生も中学生に親しみをもち、進学への不安が軽減され、期待が大きくなるのでは、と思います。	学校と地域は車の両輪、その通りだと思います。昔は地域の大人がいつも見守り、叱り、注意してくれました。今は知らない子に声をかけると不審者だと思われるそうです。女性の社会進出は良い事で、共働き主流ですが、親も大人も忙しく余裕がないのが気がかりです。地域活動やPTAのスリム化、オランダや外国のようなワークバランスがきちんと取れた成熟社会を望みます。

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
50~59 歳	2. 中学生以下 の子どもがいる	中学生／小学生	<p>再編には反対。 理由1：生徒が少なくなったことによる再編なら、再編する前にこれ以上生徒を減らさないようにする対策をもっと打つべき。 日立に住みたいと思えるように、仕事を増やしたり、産みや すく育てやすい環境に。 駅前ロータリーの空き店舗に屋内型遊びスペース(ヨーカドー にあるような)・託児・学童施設を作る。 市役所前のアーケードのように、シビックセンター前広場や 池の川運動公園(他にもたくさんありますよね)を屋根付きに して雨でもコロナ禍でもイベントが出来るようにする。 急な迎え・急な預かりに対応できるように、シニアの人々に 協力してもらえるような体制も仕事を作る。</p> <p>簡単に打てる手はまだたくさんありますよね。 まだ、再編は時期尚早。</p> <p>10年前に比べて住みやすくなったと思います。子どもの喜ぶ 施設が増えました。しかし、施設間の連携ができていないの で、便利な施設があることも知らない人もいる。 子どもを産む所、子どもや介護を受ける人を預けられる所、 緊急で預けられる所、急病でも保護者扶養家族が居なくても 取り敢えず医療を受けられる所等の連携が出来るようになれば 人口は増えるでしょう。</p> <p>市長、議員の人々は町を見ていないのでしょうか。市役所職 員の人とお話ししていますか。</p>	<p>もともと小中を分けて考えている、ということ自体に意 味がないと思う。 もっと小中の連絡を密にして日常的にメール電話をして いくべきではないですか。</p>	<p>日立はPRが上手くない。 動物園・レジャーランド(動もレも、こじんまりしてい て親には有難い。適度な満足感もある)・プール(屋内屋 外両方楽しめ、プール施設では抜群の清潔感)・科学館 (いつ行ってもそれなりに楽しめる)・ハレニコ・シーマ ーク・鶺の岬等、施設は充実しているのにそれらを繋 ぐ交通が貧弱でもったいない。 シャトルバス等の繋ぐ交通があれば、観光の強みにな るのと思う。</p>

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
60~69 歳	(未入力)	(未入力)	<p>「建物ありき」ではなく現実問題として必要なところから順々に市内の地震後の分布(高齢化+少子化)を考慮した上である程度集約することは望ましいと思う。が、その為に現実となったとき、子ども(通学する)が不便になったりしないように気配りは必要と思う。</p> <p>(例)人家の少ない道路があるなど→誘拐や犯罪の対象になるから そんな時は送迎など可能になるとか、必ず手段があるように。</p> <p>◎できれば住宅などがバラつかないような「タウン化」することも必要なのでは？(直接の関係はないかもしれないが)</p>	<p>前述の再編に伴う集約等で、人数が少ない場所じゃ一貫にするのもよいかと思う。但し、学年毎の人数等充実している場合は、全部小中一貫にしなくてもよいのでは？・・・いろいろな意味で乱れやすくなると思う。また、総人数が少ない場所から手掛けていってもよいのでは？(順々に)</p> <p>「教育」の本質(というのでしょうか)を見失わないことが重要であり、忘れてはならないと思う。「勉強ができる」のではなく、自ら学ぶことを身に付けられるように指導していくことが教育ではないのか・・・それを根幹としてアイデアを広げられたら、よい意味での学校のあり方に通じると思う。小中一貫も、そんな形で変化することを望みます。</p>	<p>先生も、子どもも、それぞれじっくり集中できる環境を!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動が土日祭日、殆ど行われていたと聞いて驚きました(最近緩和されたそうですが) ・生理学的にも、休む時間のあることで体力・脳の記憶力等 修復され 健康的である一との見解が明らかになっているのに、のべつ幕なしに部活・勉強・仕事を強いられたらストレスで、いずれいろいろな面にひずみが表れてくるものです。(いじめが<私は最近のは犯罪とっていますが>ひどいとか、凶悪化しているのはそういったひずみではないですか?) <p>体育系、文科系にしろ、すべての人がオリンピックをめざす訳でないし、またなれるものでもないですから・・・。</p>
80~89 歳	(未入力)	(未入力)	<p>所感(安全確保の点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアによっては、歩道が狭いところが多い。自転車は本来車道を走らなければならないはずだが、そうはなっていない。孫が以前、日高中に通学していたときに自転車と接触し、けがをしたことがある。 ・30年ほど前に仕事でアメリカに住んでいた。ちょうど山部小あたりの環境が似ていると思うが、学校が遠いため、子ども達は、マイクロバスで通学していた。その時のバス停での乗り降りの際の安全確保が社会ぐるみで出来ていた。(登下校のマイクロバスがバス停に止まると、例え信号が青でも、(対向車を含め)周りの車が一齐に一時停止し、子どもの安全を優先するしくみができていた。今回、再編計画を見ていて、その時のことを思い出した。 <p>上記を踏まえての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学の安全確保が大切。素案では、地域の事情に応じて路線バスの活用を視野に入れているようだが、市内のバス停は、歩だまりが十分でないところが多い。マイクロバスを活用した方が、融通がきき、安全確保の面でも良いのではないかと思う。ぜひ、今後の検討材料に入れて欲しい。 		